

【事業概要】

日本で唯一のダブルアーチ式ダムである大倉ダムの魅力と、その周辺の素晴らしい景観を広く発信しようとして、平成29年度に市民企画会議「大倉ダムの魅力発信」から実行委員会が立ち上がりました。令和元年度からは、青葉区民協働まちづくり事業を活用した鯉のぼり係留イベントの「鯉のぼり×大倉ダム」を始めました。



▲新調したのぼり旗と大倉ダム

【今年度の活動】

令和3年度は、5月1日から5日まで、大倉ダム下公園を会場に開催し、多くの方が来場しました。会場の賑わいづくりのために計画していた様々なイベントは、コロナ禍のために実施することができません

大倉ダムの魅力発信事業  
鯉のぼり×大倉ダム

したが、今年度制作したのぼり旗を会場とその周辺に配置したことで、実行委員や来場者の気持ちを明るくすると共に、会場への誘客にも一役買うことができました。

【成果と課題】

大倉ダム下公園の東側に立つ高柵山とその岩峰群の景観は素晴らしい、これをPRするために名称が付いていないか調べていると「あれ、天狗岩でないの?」という人が現れました。それを確かめるために、地元の高齢者に取材をしたり、地域に伝わる昔話や古い文献を調べたりと、活動の幅が広がったことが大きな成果でした。



宮城西市民センター  
ホームページ



▲高柵山と天狗岩

【今後の展望や期待】

コロナウイルスの感染拡大が収まり、会場の賑わいづくりが可能となれば、子どもたちが触れられる大きな鯉のぼりの係留顔出しパネルの設置、キッチンカーの配置等、来場者が一層楽しめる工夫を行います。また、この地に伝わる「天狗伝説」もクローズアップして、大倉ダムだけではなく、地域全体のさらなる魅力を広く発信していきます。



▲ドローンで撮影した大倉ダム

宮城西市民センター

☎ 3931-2829